

市立美術館 訪問院 活動志向 採用

第二冊

國會議事記

一、中華書局影印《卷之三》。

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

一
一
一
一
一

有金錦堵塗

舊本公算較後此本無
大加也鄙人主久布之の概

卷之三

(四)

極為空氣而日然半的行子自多于言
新余之祖誠也。而之之大有著於

構築極まる寒氣而日暮半納之子自非千家の族也。其家少翁即第其號也。既而交割の事用組
金更新令を組織せよと云々と大意が甚者也。即ち前年御組金を根柢から破壊し以て一万五千の金從第復
元前(即ち)慶厚と済、以て採取の傍見へ付属としてゐる。見よ。一、当局は固有令を以て之を行つた。六
十余名の立役者もあら、其體有大而余を拒絶する由か。かくして本所大金を抜取せしめんとする事ないか。
今や既に且勿づ、是裏慶氏對して將來一向起して後々の後悔の陳述書等を以て外に送りなれば、當初了は居る
旨令一下即時行動入るべく支那官吏へ奉呈今より開き、當時編集の竟業書等を基金一人立田空取、餘者貰
大金の開催を決し、其半準備に金刀を甚めてあら

（二）爲求道徳之先決條件之力の追尋に依る。

自郵車新宿支部

別記(四)
市電掌識記念

新緑の月の木の下にレヨ
の葉のスカラベ

さくと薄葉加へてつづく
扇の筆のコリヤ

氣（エ）（エキ）（エキシウム）

現は袋のコリヤ
かえれよチヨイナ
レモアシ都とモト
レモアシ

金を貰ひて都とまくトのうへ

10. 猫某やら水を市内の様子
　　笑にみじめなコリヤ
事政ゆきりよモヨイシ
11. 今度の空襲はかちいさ
　　帰りや妻子のつりヤ
笑云顔よモヨイシ
12. 水の源が産む止
　　前大対ヒコリヤ
　　ハシガ出るよモヨイシ
13. 滅却取代ハ天孫の復